



## 環境保全・気候変動への取組み

脱炭素社会の実現に貢献するため、  
事業者・機関投資家の双方の立場において、  
2050年度にCO<sub>2</sub>排出量ネットゼロに取り組めます。

### 事業者としての取組み

#### CO<sub>2</sub>排出量の削減目標 (いずれも2013年度比)

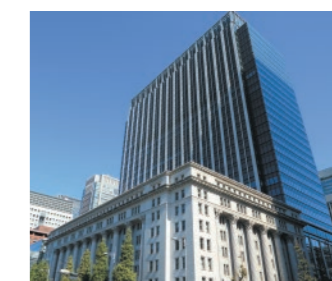
	2021年度実績	2030年度目標	2050年度目標
Scope1・2 <sup>※1</sup>	△31%	△50%	△100% 排出量ネットゼロ実現
Scope3 <sup>※2</sup>	△19%	△40%	

※1 Scope1は、当社での燃料の使用等による直接排出。Scope2は、当社で購入した電気の使用等による間接排出  
 ※2 Scope3は、サプライチェーンにおける当社以外の間接排出。重要性等に鑑み、6つのカテゴリ（1、3、4、5、6、7）に限定して算出。  
 カテゴリ15（投資）は、機関投資家としての排出量として管理

#### 主な取組み:再生可能エネルギーの導入

主要な本社機能が入居するビル3棟<sup>※3</sup>での使用電力、年間約4,570万kWhをすべて再生可能エネルギーに切り替えました。

※3 本社所在地である明治安田生命ビル(明治安田生命館含む)、明治安田生命新東陽町ビルおよび明治安田生命事務センタービル



### 機関投資家としての取組み

#### CO<sub>2</sub>排出量の削減目標 (いずれも2013年度比)

	2021年度実績	2030年度目標	2050年度目標
投融资先からの排出 (Scope1・2) <sup>※4</sup>	△34%	△50%	△100% 排出量ネットゼロ実現

※4 対象資産:国内上場企業の株式・社債・融資

#### ESG投融资の推進

2021年度からの3年間で5,000億円の投融资を実行する計画に対し、2022年度末までに累計約7,000億円と前倒しで達成したため、計画を8,000億円以上に引き上げ、推進しています。

ESG投融资額  
(2021-2022年度)

約 **7,000** 億円  
(2021-2023年度目標:8,000億円以上)



©IDB Invest  
(脱炭素社会の実現に資する「トランジション・ボンド」への投資)